

1. DR サービスの実証概要

期間	2021年2月16日から継続中
規模	18,020世帯（2021年6月30日時点）
対象	九州電力の家庭向けメニュー※にご加入のお客さま
内容	<p>「節電チャレンジ」（下げDR）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電からの供給が減少する夕方に節電を行っていただきます <p>「使ってお得・エコチャレンジ」（上げDR）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電からの供給量が需要を上回りやすい時間帯で需要を創出するため、他の時間帯から家電機器のご使用時間を移していただきます

※ 対象メニュー：従量電灯B、スマートファミリープラン、電化でナイト・セレクト、季特別電灯

【使ってお得・エコチャレンジのイメージ】



2. DR サービスの実証結果

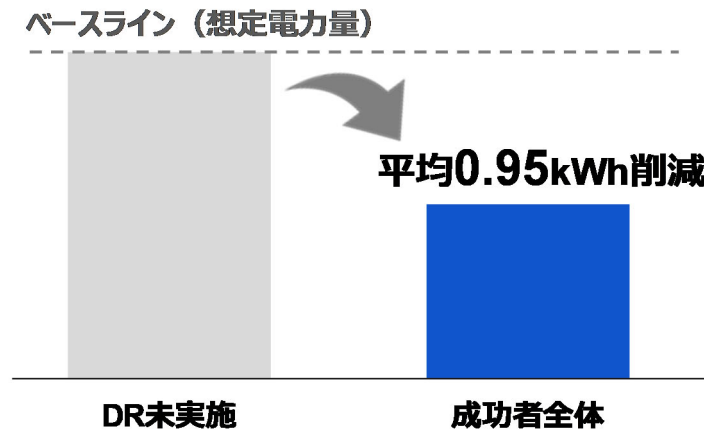
九州電力は、毎日の需給状況等を見ながら、スマホアプリ「九電eco/キレイライフプラス」を通じて、アプリを登録されたお客さまに「節電チャレンジ」または「使ってお得・エコチャレンジ」の実施を依頼しました。

(1) 節電チャレンジ（下げDR）

- ・ 1日あたり世帯ごと平均0.95kWh（0.17kWh/30分）の削減量を確認しました。
- ・ 2020年度の夏と冬におけるSBパワーによる実証結果と比較しても遜色のない結果であり、「節電チャレンジ」により特定時間帯の消費電力量削減の有効性を確認しました。

（参照：https://www.sbpower.co.jp/news/pdf/20210427_01.pdf?lang=ja）

図 1：節電チャレンジ（下げDR）の平均削減効果（1日あたり世帯ごと）

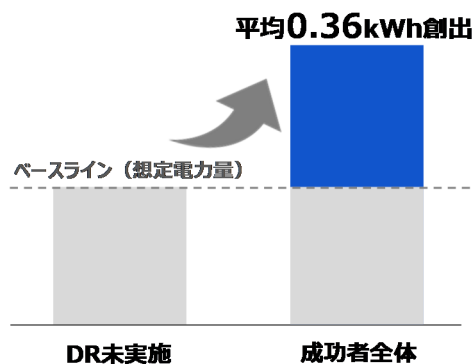


(2) 使ってお得・エコチャレンジ（上げDR）

- お客さまへのアンケートに基づき、需要創出に用いる機器ごとにグループ分けを行った結果、約6割のお客さまが1回以上上げDRにご参加いただき、1日当たり世帯ごと平均0.36kWh (0.20kWh/30分)の需要創出を確認しました。
- 電気自動車 (EV/PHEV) や、電気給湯機 (エコキュート) を保有するオール電化のお客さまでは、一般のお客さまに比べて約36%多い、平均0.41kWh (0.22kWh/30分)の需要が創出され、上げDRによる再生可能エネルギーの活用に対する電化推進の有効性が確認できました。
- また、上げDR実施日の前夜に、電気給湯機 (エコキュート) を手動で停止し、チャレンジの対象時間に沸き増しを行ったお客さまでは、特に高い効果量が確認できました。

図 2-①：使ってお得・エコチャレンジ（上げDR）の平均創出効果（1日あたり世帯ごと）

(1) 成功者全体の平均創出量



(2) 一般家庭と電気自動車等保有者の平均創出量

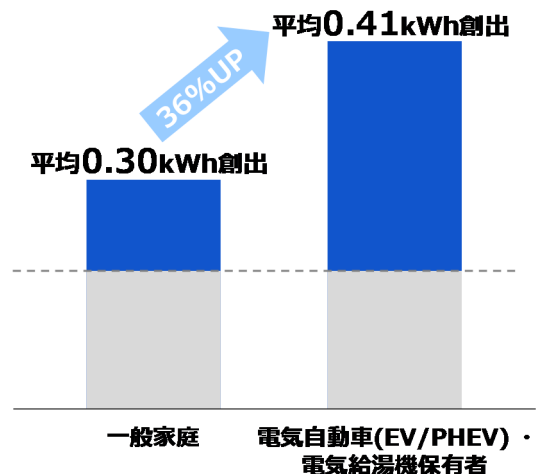
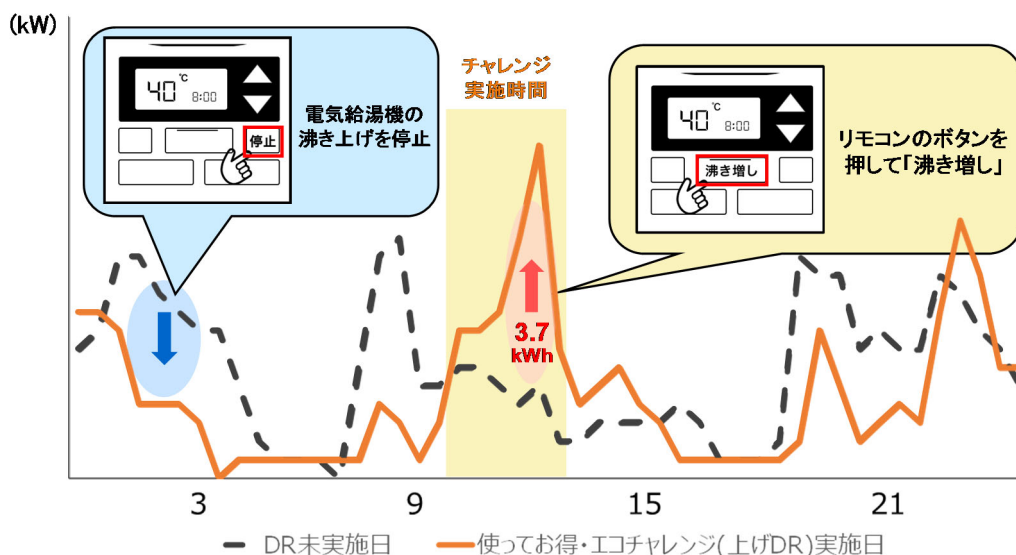


図2-②：使ってお得・エコチャレンジ（上げDR）の成功事例

〔電気給湯機（エコキュート）の沸き上げ時間変更で1日あたり **3.7 kWh** の需要を創出〕



3. 今後の取り組み

今回の共同実証の結果、Cルートデータを活用した行動誘発型のDRサービス（節電チャレンジ〔下げDR〕・使ってお得・エコチャレンジ〔上げDR〕）を通じて、「楽しみながら節電や再生可能エネルギーの有効活用に貢献できる」という新たな価値提供の可能性を見出すことができました。

なお、「使ってお得・エコチャレンジ（上げDR）」では、お客さまの上げDRに対する認知度や知識の向上により、成功事例のように需要創出効果をさらに高められる可能性があることから、今後、「成功のためのコツ」や「成功事例」について、積極的に情報発信を行っていきます。

九州電力は、今後も、需給バランスの最適化によるお客さまの省エネ・電気料金低減への貢献や再生可能エネルギーの更なる活用など、環境に優しい新たなエネルギーサービスの提案に、SBパワーと共同で取り組んでいきます。